

KENWOOD

デジタルワイヤレスシステム

SLG-7

取扱説明書 保証書付 34

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

目次

本機の特徴	3	オーディオ機器を再生する	18
安全上のご注意	4	パソコンの曲を再生する	20
電波について	10	音がでないときは	21
お手入れのしかた	10	通信チャンネルを変更する	22
付属品の確認	11	トランスミッターとレシーバーの 組み合わせを変える	23
各部の名称とはたらき	12	故障かな?と思ったら	24
ACアダプターを接続する	14	廃棄時のご注意	26
レシーバーと接続する	15	定格	28
トランスミッターと接続する	16	ケンウッド全国サービス網	29
オーディオ機器の接続	16	保証とアフターサービス	32
パソコンの接続	17	無料修理規定	33
必要なパソコンのシステム構成	17	保証書	34
電源のオン/オフ	18		

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、隣り近所への配慮を十分いたしましょう。

特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

本機の特徴

本機は、デジタルワイヤレス接続により、ポータブルオーディオプレーヤーやパソコンなどのサウンドをホームオーディオ機器で再生します。



≡ 高音質で送受信

トランスミッターに接続した機器の音楽信号を、2.4GHz帯デジタル信号でレーザーへ伝送します。伝送音声方式には、ハイクオリティなサウンドが楽しめるCDと同じ非圧縮のリニアPCM信号を採用しています。

≡ 多彩な再生機器に対応

トランスミッターの入力端子には、PCの音楽再生のための「USB入力端子」、ポータブルオーディオプレーヤーや据え置き再生機器の再生のための「ステレオミニ入力端子」を採用。レーザーの出力端子には、光デジタル出力端子と、アナログ出力端子を採用。再生機器に合わせた接続が可能です。

≡ 手元で簡単操作

トランスミッターには充電式電池を内蔵していますので、ポータブルオーディオプレーヤーなどと一緒に手元に置いて使うことができます。

安全上のご注意

 : 本項目は安全確保のために、必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のポータブルオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

警告



心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。



病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では本機を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。



本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。



ACアダプターは交流100ボルトの電圧で使用する

この機器のACアダプターは、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。



布や布団などでおおったりつつんだりしない

ACアダプターは、風通しの悪いところで使用すると内部に熱がこもり、火災の原因となります。



電源プラグ、ACアダプターのプラグを定期的に清掃する

電源プラグ、ACアダプターのプラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。



落としたら電源プラグ、ACアダプターを抜く

ACアダプターや機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、機器の電源スイッチを切り、電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら電源プラグ、ACアダプターには触れない

感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグ、ACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となります。



異常が起きた場合は電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜き、電池を取り出す。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



ACアダプターや機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となることがあります。

注意



電源プラグ、ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。電源プラグ、ACアダプターを根元まで差し込んでみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



電源コード・ACアダプター・本機を熱器具に近づけない

電源コード・ACアダプター・本機を熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。火災・感電の原因となることがあります。



長期間使用しないときは電源プラグ、ACアダプターを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜いておく。火災の原因となることがあります。



機器の内部に水や異物を入れない

機器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気のある調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・液もれの原因となることがあります。



温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。

本体や部品に悪い影響を与え、火災・液もれの原因となることがあります。



機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。

あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。



お手入れの際は電源プラグ、ACアダプターを抜く

お手入れの際は、電源プラグ、ACアダプターをコンセントから抜いておく。感電の原因となることがあります。



定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- － 分解/改造すること
- － 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

2.4DS 4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

DS : DS-SS変調方式を表します。

4 : 電波と干渉距離は40mです。

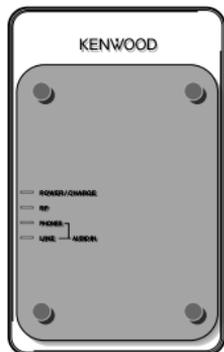
本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- 使用可能距離は見通し距離約30 mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - － 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetoothなどの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - － ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナーなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

お手入れのしかた

汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

付属品の確認



トランスミッター



レシーバー



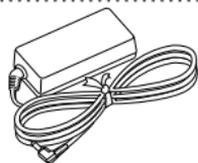
オーディオケーブル①
(ステレオミニプラグ-ステレオミニプラグ)



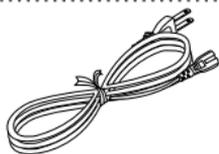
オーディオケーブル②
(RCAピン-ステレオミニプラグ)



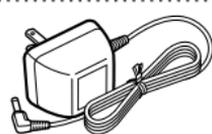
オーディオケーブル③
(RCAピン-RCAピン)



トランスミッター用
ACアダプター
(AC-050150A)



トランスミッター用
ACアダプター電源コード



レシーバー用
ACアダプター
(AC50040A)



USBケーブル



シート

ポータブル機器などをトランスミッターの上に置くときに、お使いください。すべり止めやキズつき防止になります。

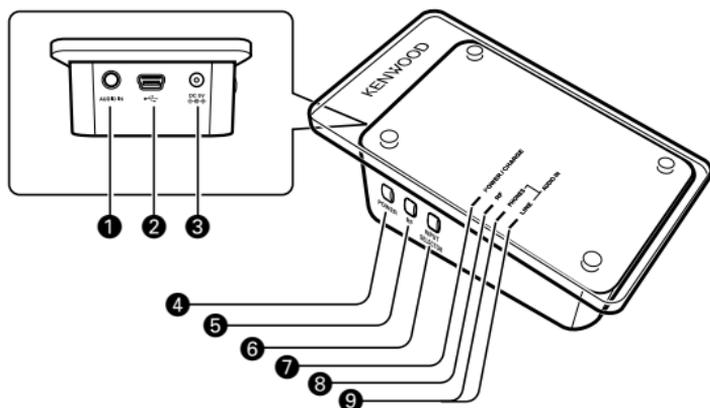


レンチ

内蔵電池を廃棄するときに使用します(27ページ)。レンチは35ページに貼ってあります。

各部の名称とはたらき

トランスミッター（送信機）



① アナログ入力端子 (AUDIO IN)

ポータブルオーディオプレーヤーのヘッドフォン端子 (HEADPHONE) と接続するオーディオケーブル①またはステレオ機器のライン出力端子 (LINE OUT) と接続するオーディオケーブル②のステレオミニプラグを接続します。

② USB入力端子 (USB)

パソコンと接続するUSBケーブルを接続します。

③ DC入力端子 (DC5V)

ACアダプターを接続します。

④ 電源キー (POWER)

電源をオン/オフします。

⑤ チャンネルセレクターキー (RF)

トランスミッターとレシーバー間で通信するチャンネルまたはIDを切り替えます。

⑥ 入力セレクターキー

アナログ入力端子とUSB入力端子を切り替えます。キーを押すたびにライン、ヘッドホン、USBの順に切り替わります。

⑦ 電源ランプ (POWER/CHARGE)

電源オン時には緑色に点灯します。充電中（電源オフ）には赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。内蔵充電電池の残量が少なくなってくると、赤色が点滅します。

⑧ 通信中ランプ (RF)

レシーバーと通信中に点灯します。ID登録中は点滅します。

⑨ 入力切り替え表示ランプ

入力セレクターで選択された入力ソースに応じてランプが点灯します。

LINEランプ：

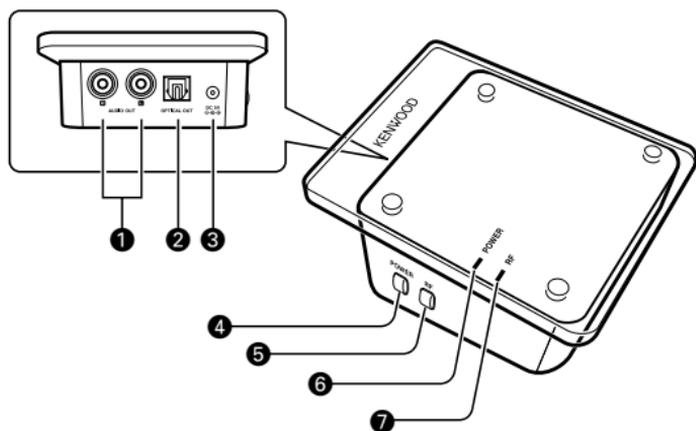
ラインアウト入力選択時点灯

PHONESランプ：

ヘッドホン入力選択時点灯 (HEADPHONE)

消灯： USB入力選択時はLINE、PHONESランプとも消灯します。

レシーバー（受信機）



① アナログ出力端子 (AUDIO OUT)

ホームオーディオ機器の入力端子（LINE入力など）にオーディオケーブル（RCAピンプラグ）で接続します。

② 光デジタル出力端子 (OPTICAL OUT)

ホームオーディオ機器の光デジタル入力端子に光デジタルケーブル（市販品）で接続します。

③ DC入力端子 (DC5V)

ACアダプターを接続します。

④ 電源キー (POWER)

電源をオン/オフします。

⑤ チャンネルセクターキー (RF)

トランスミッターとレシーバー間で通信するIDを切り替えます。

⑥ 電源ランプ (POWER)

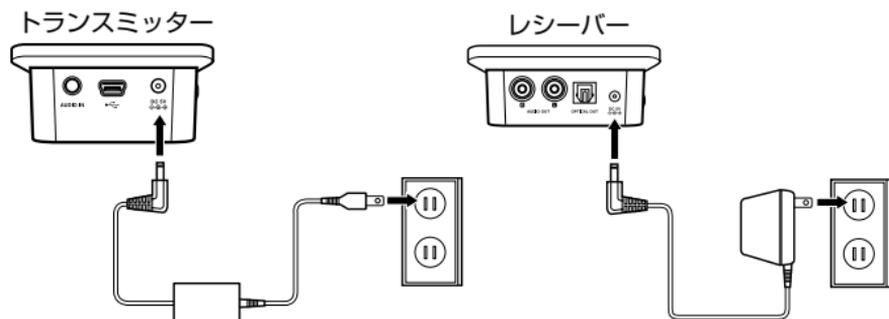
電源がオンのときに点灯します。

⑦ 通信中ランプ (RF)

トランスミッターと通信中に点灯します。ID登録中は点滅します。

ACアダプターを接続する

トランスミッターとレシーバーにACアダプター（付属品）を接続します。



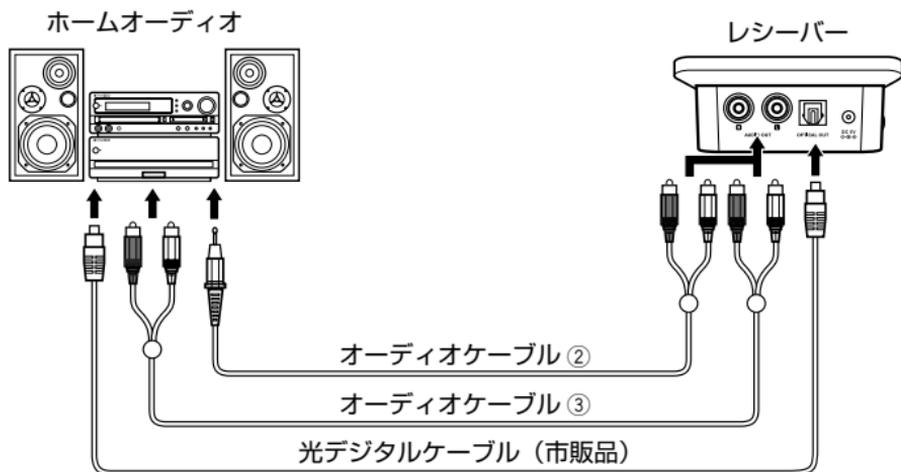
本機には指定のACアダプター「AC-050150A」（トランスミッター用）、「AC50040A」（レシーバー用）：（JEITA規格・極性統一型プラグ付き）をご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると火災・感電の原因となります。



- 使用できるACアダプターはトランスミッターとレシーバーで異なります。接続する前に形状（型式）を確認してください。
- トランスミッターには充電式電池が内蔵されていますので、ACアダプターを接続しなくてもご使用いただけます。ただし、お買い上げ時の状態では充電は十分ではありませんので、ACアダプターを接続して充電してください。約3時間で充電が完了します。

レシーバーと接続する

レシーバーにステレオなどのオーディオ機器を、オーディオケーブル（付属品）または光デジタルケーブル(市販品)で接続します。

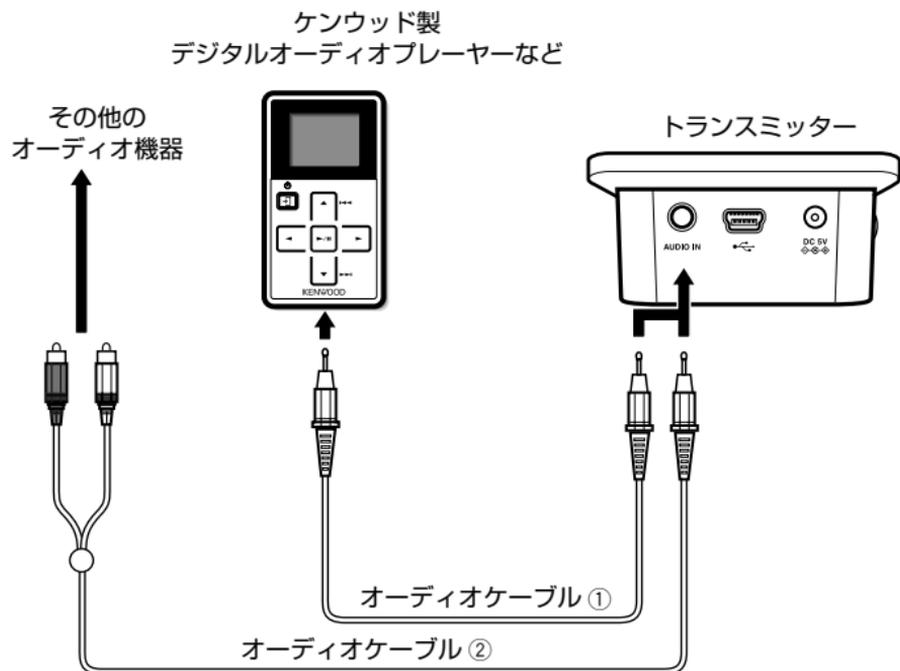


- 接続時には、レシーバーとオーディオ機器の電源をオフにしておいてください。
- 光デジタル出力端子からMDレコーダーなどに接続してのデジタル録音はできません。録音するときはアナログ出力端子に録音機器を接続してください。

トランスミッターと接続する

オーディオ機器の接続

トランスミッターにポータブルプレーヤーなどのオーディオ機器をオーディオケーブル(付属品)で接続します。



- 接続時には、トランスミッターとオーディオ機器の電源をオフにしておいてください。

パソコンの接続

トランスミッターにパソコンをUSBケーブル(付属品)で接続します。

1 パソコンを起動します。

2 パソコンにトランスミッターをUSBケーブル(付属品)で接続します。



3 トランスミッターの電源をオンにします。

トランスミッターをパソコンに初めて接続したときには、Windowsによって新しいハードウェアとして認識され、必要なデバイスドライバのインストールが自動的に行われます。インストール処理が終了すると、トランスミッターの通信中ランプが点灯します。

必要なパソコンのシステム構成

OS	Microsoft® Windows® Vista/XP SP1以降/2000 SP4以降(日本語版)
USB端子	USB 1.1 規格に準拠
<ul style="list-style-type: none">● 上記に適合するすべての環境について動作保証するものではありません。● 上記OSがプリインストールされたパソコンをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作保証はいたしません。	



- トランスミッターは、パソコンのスピーカーデバイスとして動作します。
- Windowsでのインストール処理に、多少時間がかかる場合があります。
- USBケーブル接続時、パソコンの使用環境によりパソコンから電源が十分供給できないことがあります。この場合はトランスミッターに付属のACアダプターを接続してください。
- USBハブは使用できません。パソコンとトランスミッターは、付属のUSBケーブルで直接接続してください。

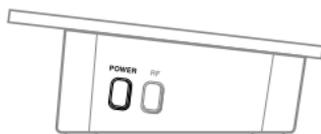
電源のオン/オフ

電源キーを押し続けると、電源がオンになり、電源ランプが点灯します。

トランスミッター



レシーバー



もう一度電源キーを押し続けると、電源はオフになります。



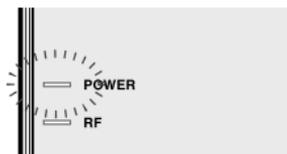
- トランスミッターとレシーバーの通信中ランプが点灯したら、使用可能な状態です。

オーディオ機器を再生する

トランスミッターに接続したオーディオ機器の曲をレシーバーに接続したオーディオから高音質のサウンドで再生します。

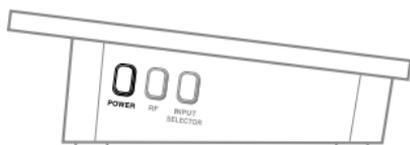
- 1 レシーバーとオーディオ機器の電源をオンにします。

レシーバー

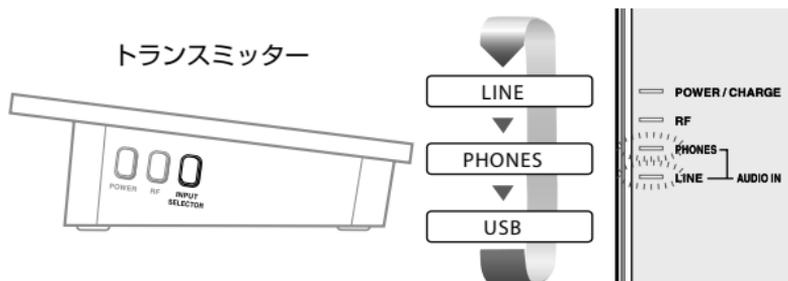


- 2 トランスミッターの電源をオンにします。

トランスミッター



3 接続するオーディオ機器に合わせてLINEとPHONESを切り替えます。



USBを選択したときは、LINE、PHONESランプとも消灯します。

オーディオ機器		設定
	デジタルオーディオプレーヤー、CDプレーヤーなどのヘッドホン端子	AUDIO IN PHONES
	ステレオセットなどの録音出力、再生出力(ラインアウト)端子	AUDIO IN LINE

4 オーディオ機器を再生します。



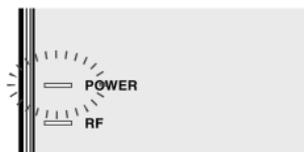
- トランスミッターに接続するオーディオ機器に応じて、LINEとPHONESを切り替えます。設定を間違えると音がひずむことがあります。
- 音量は、トランスミッターに接続しているプレーヤー、またはレシーバーに接続しているオーディオで調整します。

パソコンの曲を再生する

トランスミッターに接続したパソコンの曲を、レシーバーに接続したオーディオから高音質のサウンドで再生します。

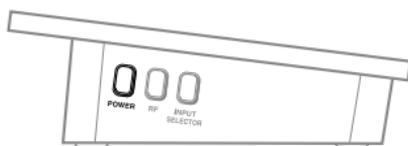
1 レシーバーの電源をオンにします。

レシーバー



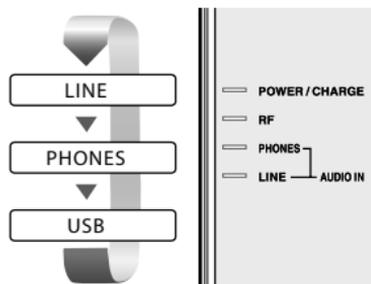
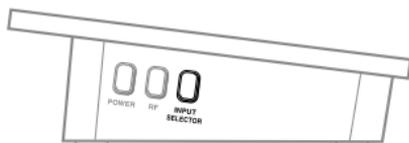
2 トランスミッターの電源をオンにします。

トランスミッター



3 USBに切り替えます。

トランスミッター



USBを選択したときは、LINE、PHONESランプとも消灯します。

4 Windows Media Playerなどで曲を再生します。

音がでないときは

パソコンを再生状態にしても音が出なかったり、音量が非常に小さい場合は、次の手順で音量の設定を確認してください(例：WindowsXPの場合)。

1 [スタート]メニュー→[設定]→[コントロールパネル]を選択します。

2 [サウンドとオーディオのプロパティ]をダブルクリックします。

3 [オーディオ]タブの「音の再生」の[既定のデバイス]ドロップダウンリストで「KENWOOD Wireless Audio」を選択します。



[KENWOOD Wireless Audio] を
選択します。

4 [音量]をクリックします。

5 「ミュート」のチェックボックスのチェックマークを消し、音量を調整します。



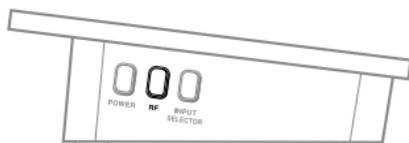
- 音量は、トランスミッターに接続しているパソコンの[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[サウンドとオーディオのプロパティ]→[音量]タブ、またはレシーバーに接続しているオーディオ機器で調整できます。パソコン側は最大音量に設定しておいて、オーディオ機器側で調整すると簡単です。
- パソコンにトランスミッターをUSBで接続しているときには、パソコンのスピーカーからは音は出ません。

通信チャンネルを変更する

雑音が出たり、音が途切れたりする場合は、混信している可能性があります。
通信に使用するチャンネルを切り替えてみてください。

1 トランスミッターのチャンネルセレクターキーを押します。

トランスミッター



チャンネルセレクターキーを押すたびに、チャンネルが切り替わります。



- トランスミッター側でチャンネルを変更すると、レシーバーも自動的に切り替わります。
- 本セットでは、通信に使用するチャンネルは3チャンネル用意されています。どのチャンネルに切り替えても改善されない場合は、トランスミッターやレシーバーの設置場所を変えてみてください。

トランスミッターとレシーバーの組み合わせを変える

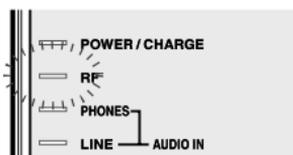
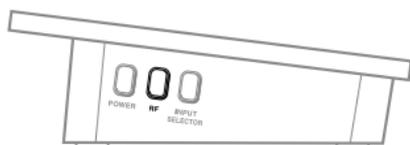
トランスミッターとレシーバーの組み合わせを変えるときは、IDをそろえる必要があります。お買い上げ時のセットはIDをそろえてありますので、下記の操作は不要です。

- 1 トランスミッターとレシーバーを、両方を同時に操作できる距離(約30cm)まで近づけます。

- 2 トランスミッターとレシーバーの電源をオンにします。

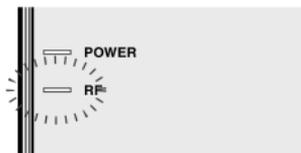
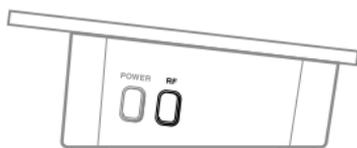
- 3 トランスミッターとレシーバーのチャンネルセクターキーを同時に押し続けます。

トランスミッター



トランスミッターの通信中ランプが点滅します。

レシーバー



レシーバーの通信中ランプが点滅します。

- 4 両方のユニットの通信中ランプが点灯に変わったら、チャンネルセクターキーから指を離します。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、まずは症状にあわせて一度チェックしてみてください。また、接続した他の機器に原因がある場合もありますので、あわせて他の機器の取扱説明書もご確認ください。

症状	対策
電源が入らない。	ACアダプターが接続されていない(トランスミッター / レシーバー)か、内蔵電池が消耗しています(トランスミッター)。 ➡ 付属のACアダプターをレシーバーまたはトランスミッターに正しく接続してください。トランスミッターを内蔵電池で使用するときは、あらかじめ十分に充電しておいてください。
充電できない。	トランスミッターの内蔵電池に充電できない。 ➡ レシーバー用のACアダプターを使用している。トランスミッター用のACアダプターを接続してください(14ページ)。
雑音が多い、音が歪む、音が途切れる。	トランスミッターとレシーバーの間に、通信の障害となるものがあります。 ➡ トランスミッターとレシーバーは、互いに見通せる場所に置いてください。
	本セットで使用している周波帯と同じ周波帯を使用する装置(無線LAN機器、電子レンジ等)が周囲にあります。 ➡ 通信チャンネルを切り替えてください(22ページ)。 ➡ 無線LAN機器、電子レンジなどから離れた場所に設置してください。
	近くにラジオやBS/CSアンテナがあります。 ➡ アンテナから離れた場所で使用してください。
	テレビなどの強い磁気を出す装置のそばでは、雑音が入る場合があります。 ➡ テレビなどから離れた場所に設置してください。
トランスミッターがパソコンで認識されません。	パソコンとトランスミッターが正しく接続されていません。 ➡ 付属のUSBケーブルで正しく接続してください(17ページ)。 ➡ USBケーブルを接続しなおしてください。 それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。
	USBハブが使用されています。 ➡ パソコンとトランスミッターは、付属のUSBケーブルで直接接続してください。

症状	対策
音が出ない、または極端に小さい。	<p>オーディオ機器またはパソコンとトランスミッターが正しく接続されていません。</p> <p>➡ オーディオケーブルまたはUSBケーブルで正しく接続してください(16ページ、17ページ)。</p>
	<p>トランスミッターのアナログ入力端子の設定を間違えている。</p> <p>➡ 入力セレクターキーを何回か押して、接続するオーディオ機器に応じて入力を切り換えてください(19ページ)。</p>
	<p>パソコンの「音量」設定で「ミュート」にチェックマークが付いています。</p> <p>➡ 「ミュート」のチェックマークを外してください(21ページ)。</p>
	<p>オーディオ機器のヘッドホン端子とトランスミッターのアナログ入力端子を接続しているときに、オーディオ機器の音量が下げられている。</p> <p>➡ オーディオ機器の音量を適切に調整してください。</p>
	<p>ボリュームコントロールで音量が絞られています。</p> <p>➡ 適切な音量に調整してください(21ページ)。</p>
	<p>パソコンの音声出力デバイスが「USBスピーカ」に設定されていません。</p> <p>➡ 「音の再生」の[既定のデバイス]ドロップダウンリストで「KENWOOD Wireless Audio」を選択してください(21ページ)。</p>
	<p>レシーバーとステレオ機器がオーディオケーブルまたは光デジタルケーブルで正しく接続されていません。</p> <p>➡ オーディオケーブルまたは光デジタルケーブルで正しく接続してください(15ページ)。</p>
左右バランスが片寄っている。	<p>➡ トランスミッターに接続しているオーディオ機器やパソコンの出力バランスを確認・調整してください。</p> <p>➡ レシーバーに接続しているステレオ機器の出力バランスを確認・調整してください。</p>

危険



内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の
中にいれない

発熱・破裂・発火によって火災の原因となります。



内蔵電池は火のそばや炎天下などに置かない

火災・破裂・発熱の原因となります。



内蔵電池のコネクターに絶縁テープを貼る

電極がショートすると、破裂・発火のおそれがあります。

警告



内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない

けが・事故の原因となります。



内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにき
れいな水で目を洗い、医師の治療を受ける

そのままにしておくと、目に障害がおきる原因となります。

内蔵電池のリサイクル



Li-ion

トランスミッターの内蔵電池は、リチウムイオン充電電池を使用して
います。リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な資源です。

トランスミッターを廃棄する際には、内蔵電池を取り出し、充電式
電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関する情報：

有限責任中間法人 JBRC

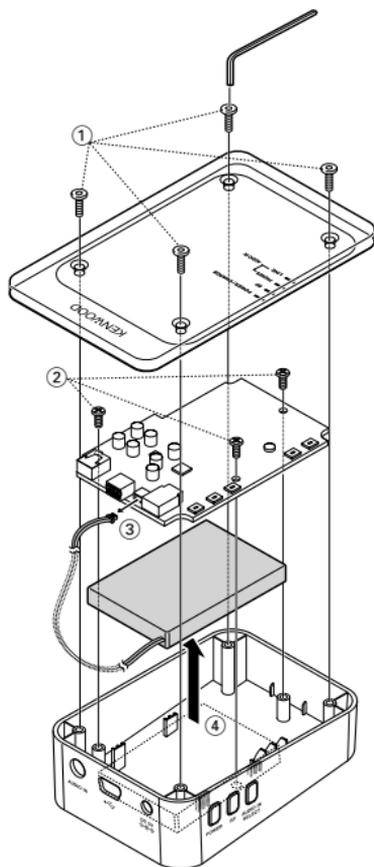
ホームページ：<http://www.jbrc.com>

廃棄時の充電式電池（内蔵電池）の取り外しかた： トランスミッター（送信機）

重要：

廃棄をするとき以外は、トランスミッターを絶対に分解しないでください。
内蔵電池の交換については、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。

- ① パネルのネジ4か所を付属のレンチで外します。
- ② 基板のネジ3か所を精密ドライバー（+）で外します。
- ③ 基板を取り出し、内蔵電池のコネクターを外します。コネクター部分に力が加わらないように注意してください。
- ④ 内蔵電池を取り出します。内蔵電池を取り出すときに、爪や指をケガさないよう注意してください。
- ⑤ 取り外した内蔵電池は、ケーブルのコネクター部をテープでおおうようにして内蔵電池に貼り付け、ポリ袋などに入れません。



- 内蔵電池は完全に消耗したことを確認してから、取り外してください。
- 一度取り出した内蔵電池は、基板のコネクターに接続しないでください。
- 取り出した内蔵電池はなるべく早めに充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

定格

トランスミッター

形式

: デジタルワイヤレストランスミッター

周波数帯域

: 2.4GHz帯(2400MHz ~
2483.5MHz)

音声方式

: AUDIO IN (リニアPCM: 16bit,
44.1kHz)
: USB (リニアPCM: 16bit,
44.1kHz)

通信距離 (見通し距離)

: 30 m

入力端子 (レベル / インピーダンス)

: AUDIO IN LINE (2000mV/ 10k Ω)
: AUDIO IN PHONES (800mV/
33k Ω)

USB入力端子

: Type Mini-B

消費電流

: 500mA以下

連続再生時間 (内蔵電池使用時)

: 約4.5時間

充電時間 (内蔵電池)

: 約3時間

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)

: 61×32×100 mm

質量 (重量)

: 約86 g

レシーバー

形式

: デジタルワイヤレスレシーバー

周波数特性

: 20Hz ~ 20kHz (+0/-1dB)

出力端子 (レベル / インピーダンス)

: AUDIO OUT (1.2V/ 480 Ω)

デジタル出力端子 (感度 / 波長)

: 光出力 (オプティカル)
(-21dbm ~ -24dbm/ 660nm \pm
30nm)

電源

: DC 5V (ACアダプター: AC100V
50/60Hz)

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行)

: 77×32×78 mm

質量 (重量)

: 約70 g

共通

使用温度範囲

: 0 °C ~ 35 °C

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

ケンウッド全国サービス網 (2007年5月現在)

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

北海道

札幌サービスセンター ☎ (011) 743-7740
☎ 007-0834 札幌市東区北 34 条東 14-1-23

東北

仙台サービスセンター ☎ (022) 284-1171
☎ 984-0042 仙台市若林区大和町 5-32-12 (サンライズ大和 1F)
盛岡サービスセンター ☎ (019) 646-2311
☎ 020-0124 盛岡市厨川 4-5-11

関東・信越

さいたまサービスセンター ☎ (048) 647-6818
☎ 330-0801 さいたま市大宮区土手町 1-2 (JA 共済埼玉ビル 1F)
千葉サービスセンター ☎ (04) 7163-1441
☎ 277-0081 柏市富里 1-2-1
横浜サービスセンター ☎ (045) 939-6242
☎ 226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2
新潟サービスセンター ☎ (025) 287-7736
☎ 950-0923 新潟市姥ヶ山 1-5-37
目黒サービスセンター (修理持込専用窓口)
☎ 153-0042 目黒区青葉台 3-17-9
☎ (03) 3477-5411*

* 電話でのお問い合わせは当社カスタマーサポートセンターに転送にて承ります。

ケンウッド全国サービス網

中部・甲州

- 名古屋サービスセンター ☎ (052) 917-2550
☎ 462-0861 名古屋市北区辻本通 1-11
- 静岡サービスセンター ☎ (054) 262-8700
☎ 420-0816 静岡市葵区沓谷 5-61-1
- 松本サービスセンター ☎ (0263) 26-7331
☎ 390-0832 松本市南松本 2-7-30 (昭和ビル 2F)
- 金沢サービスセンター ☎ (076) 265-5045
☎ 920-0036 金沢市元菊町 21-87
-

近畿・四国

- 大阪サービスセンター ☎ (06) 6394-8075
☎ 532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22
- 高松サービスセンター ☎ (087) 835-2413
☎ 760-0068 高松市松島町 3-1
-

中国

- 広島サービスセンター ☎ (082) 832-2210
☎ 731-0137 広島市安佐南区山本 1-8-23
-

九州

- 福岡サービスセンター ☎ (092) 551-9755
☎ 815-0035 福岡市南区向野 2-8-18
- 鹿児島サービスセンター ☎ (099) 251-6347
☎ 890-0063 鹿児島市鴨池 2-15-10 (パレス鴨池 1F)
- 沖縄サービスセンター ☎ (098) 874-9010
☎ 901-2101 浦添市西原 4-36-17 ((株) 物流 2F)

- ケンウッドサービス窓口 営業時間のご案内：
午前 10 時から午後 6 時まで
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル ☎ 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、
どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は ☎ (045) 933-5133

FAX (045) 933-5553

☎ 226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2

● カスタマーサポートセンター 営業時間のご案内：

月曜～金曜 午前 9 時 30 分から午後 6 時

土曜 午前 9 時 30 分から午後 12 時、午後 1 時から午後 5 時 30 分

（日曜、祝日及び当社休日を除く）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1. 保証について

- **保証書**—製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「**お買い上げ日**」・「**販売店名**」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間**—お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「**無料修理規定**」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または「**ケンウッド全国サービス網**」に記載されている、ケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- 保証期間中は、「**無料修理規定**」に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- 修理料金の仕組み（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
 - ① 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
 - ② 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ③ 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
 - ④ 送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。
- 修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかリモコン、ヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 保証書のご提示のない場合。
 - (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
 - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
 - (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
 - (9) 消耗部品（例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電電池等）の交換。
 - (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧くださいの上、サービス窓口へお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	デジタル ワイヤレス システム	形名	SLG-7
保証対象	本体	保証期間	(お買上げ日より) 1年間
※お買上げ日	年	月	日
※お客様	お名前 ご住所 電話番号 ()		
※販売店	店名 住所 電話番号 ()		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買上げの販売店または、本取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

ランチ

内蔵電池を廃棄するときに使用します (27 ページ)。
取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

【お電話による使いかた・商品に関するご相談】

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00
土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30
※日曜、祝日及び当社休日を除く



0570-010-114

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX **045-933-5553**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

<http://www.kenwood.co.jp/faq/>

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

※ 保証書は 34 ページに付いています。



大豆油インキを
使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3